# 17号 ひこね だより



太鼓ユニット「無限-MUGEN-」の演奏(市制75周年記念公演)

#### 平成24年度一般会計予算 362億3千万円 可決 特別会計 235億5,215万6千円 ・企業会計 140億2.285万5千円

2月定例会の結果2~4
予算特別委員会の審査状況5
常任委員会の審査状況6
市に女兵人の田直州川
代表質問7~8
個人質問9~12
ほかにもこんなことを質問しました …12
KAR OCH WEELE AND WORK 12
行政視察報告13
13 1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1
議会改革特別委員会中間報告14
議場コンサート開催14

残り2件は不採択としました。 請願4件については、2件は採択、

り可決しました。 された議案審議のほか、各会派の代表日までの19日間の会期で開催し、提出2月定例会は、2月27日から3月16 案は35件で、いずれも原案のとおり可決・ 意見書案2件で、 承認しました。また、議員提出議案は 者および個人からの質疑、一般質問 行いました。 今期定例会に提出された市長提出議 いずれも原案のとお

# 2月定例会のあらま

# ---平成24年度当初予算 = いずれも可決

/iii	+DT ====
件 名	世上,一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
一般会計予算	予算額:362億3千万円
双公田 1 升	(前年度比 1.3%減)
国民健康保険事業特別会計予算	予算額:95億9,089万6千円
	(対前年度比 3.6%増)
<b>工业发展中国人工之效</b>	予算額:61億9,121万9千円
下水道事業特別会計予算	(対前年度比 8.0%増)
<b>在日為時款處電車要配用人科マ</b> 姓	予算額: 2,913万8千円
休日急病診療所事業特別会計予算	(対前年度比 48.4%減)
曲要焦衷排力重要性叫入到了效	予算額: 3億440万6千円
農業集落排水事業特別会計予算	(対前年度比 O.7%減)
人港用於市界柱則人共又質	予算額:65億4,661万8千円
介護保険事業特別会計予算	(対前年度比 9.6%増)
<b>※拥克縣北尼森市坐柱町入斗マ</b> 祭	予算額:8億8,987万9千円
後期高齢者医療事業特別会計予算	(対前年度比 1.0%増)
立相士士毕防市业人主マダ	予算額:107億6,821万7千円
彦根市立病院事業会計予算	(対前年度比 3.4%増)
小光車帯入江マ公	予算額:32億5,463万8千円
水道事業会計予算	(対前年度比 7.1%減)

#### 平成23年度補正予算 = いずれも承認・可決

干成23年及補止了昇 = いずれも承認・可決	
件名	概  要
専決処分につき承認を求めることについて	補正予算額:3億3,553万9千円
	国の制度を活用し、消防救急デジタル無線の整備を
一般会計補正予算(第6号)	当初計画より前倒しで進めるもの
	補正予算額:11億4,888万5千円
	防災行政無線移動系デジタル化整備事業、病院事業
一般会計補正予算(第7号)	会計負担金、除雪対策経費、財政調整基金積立金等
	の増額補正、子ども手当支給事業等の減額補正およ
	び繰越明許費、債務負担行為補正
	補正予算額:6,956万3千円
国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	一般被保険者療養給付費等の増加や、平成22年度療
	養給付費等の交付金の実績額確定等に伴う補正
	補正予算額:4億5,366万3千円(減額)
下水道事業特別会計補正予算(第3号)	流域下水道維持管理負担金その他事業費等の確定に
	よる増減の補正および繰越明許費
人进用场市平卧时间入汽杯工艺数/放6日)	補正予算額:5,844万7千円
介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	各サービス給付費等の増減に伴う補正
	補正予算額: 2,594万7千円
彦根市立病院事業会計補正予算(第1号)	高額薬品費増加に伴う材料費等の増額および支払利
	息や企業債取扱諸費の減少等の増減に伴う補正
水道事業会計補正予算(第4号)	補正予算額:5,533万3千円(減額)
	職員の退職に伴う他会計からの負担の当初見込み減
	少による減額補正
	I .

# 2月定例会の結果

# 条例の制定 = いずれも可決

2141231211212	
件名	概  要
	本市が直面する厳しい財政状況から、平成24
	年度における市長(10%)、副市長および教育
平成24年度における彦根市長等の給与の特例に	長(それぞれ5%)の給料月額を削減するもの
関する条例案	市 長 925,000円→832,500円
	副市長 770,000円→731,500円
	教育長 705,000円→669,750円
地土自丛建佐仁人姓159名姓1西姓9只见建士大克	地方自治法施行令の改正に伴い、本市において、
地方自治法施行令第152条第1項第3号の法人を定める条例案	予算の執行に関する市長の調査権の対象とす
	る法人等を定めるため制定するもの

#### 条例の改正 = いずれも可決

<b>米内沙埃正</b>	
件名	概 要
彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併につい	「住民基本台帳法」および「出入国管理及び難
て市民の意思を問う住民投票条例の一部を改正す	民認定法及び日本国との平和条約に基づき日
る条例案	本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関す
彦根市印鑑条例の一部を改正する条例案	る特例法」の改正等に伴い、外国人登録法を引
美しいひこね創造条例の一部を改正する条例案	用している規定を改めるとともに、これに伴う
彦根市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例案	経過措置を設けるなど所要の改正を行うもの
	社会教育法の一部改正等に伴い、改正前の社会
彦根市公民館の設置および管理に関する条例の一	教育法を引用している規定を改め、公民館運営
部を改正する条例案	審議会の委員の委嘱の基準を条例で規定する
	もの
호텔(라마스 에 프로 (리 프로 이 프리크 및 A MI O	博物館法の一部改正等に伴い、博物館協議会の
彦根城博物館の設置および管理に関する条例の一	委員の任命の基準を条例で規定するなど所要
部を改正する条例案	の改正を行うもの
	公営住宅法の一部改正等に伴い、市営住宅の募
the left de W. Ch. who as the left has a substitution of the left and	集状況、応募状況等の実情に鑑み、引き続き同居
彦根市営住宅の設置および管理に関する条例の一	親族要件を規定するとともに、改正前の政令を引
部を改正する条例案	用している規定を改め、単身での入居を認める要
	件を条例で規定するなど所要の改正を行うもの
The little latter, 111 A 230 As held a solution of the second as the helds	水防法の改正に伴い、条例において引用してい
彦根市防災会議条例の一部を改正する条例案	る条項のずれを改めるもの
	平成23年人事院勧告の趣旨に基づき、給料表の
彦根市職員の給与に関する条例の一部を改正する	切替えに伴う現給保障額について、医師に対す
条例の一部を改正する条例案	る支給を除き、平成24年度は2分の1(上限1万
	円)を減額し、平成25年4月1日に廃止するもの
	認可地縁団体等に係る市民税の減免において、
	市民等の負担の軽減および事務の効率化を図
彦根市市税条例の一部を改正する条例案	るため、規則で定める場合は、当該減免に係る
	申請書等の提出を要しないこととし、また、法律
	改正に伴い、市たばこ税の税率を引き上げるな
	ど所要の改正を行うもの
	CINS OWE CITY OW

件名	概要
П 11	政令等の改正に伴い、危険物に関する申請に係
彦根市消防に関する手数料条例の一部を改正する	る手数料を定める別表に浮き蓋付特定屋外タン
条例案	ク貯蔵所についての規定を加えるなど所要の改
	正を行うもの
彦根市立心身障害児通園施設の設置に関する条例	法律改正に伴い、子ども療育センターにおいて
の一部を改正する条例案	実施する支援およびその根拠規定について定め
	る規定を児童福祉法に基づくものに改めるもの
	低所得者対策および保険料負担の適正化を図
彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案	るなど介護保険の保険料率について所要の改
	正を行うもの
	消防団員の処遇の改善を図るため、消防団員に
彦根市消防団条例の一部を改正する条例案	支給する報酬の額を引き上げるなどの改正を行
	うもの

#### 条例の廃止 = 可決

件名	概  要
	国宝・彦根城築城400年祭の開催および楽々
彦根市国宝・彦根城築城400年記念事業基金の設置、	園保存整備事業に要する経費の財源として充
管理および処分に関する条例を廃止する条例案	当し、平成23年度をもって基金の全額を取り
	崩すことから廃止するもの

#### その他 = いずれも可決

件名	概  要
滋賀県市町村職員研修センター規約の変更につき 議決を求めることについて	財団法人滋賀県市町村振興協会が公益財団法 人滋賀県市町村振興協会に名称変更すること に伴い規約変更するもの
市道路線の廃止および認定につき議決を求めるこ とについて	市道の整備に伴い、廃止、認定を行うもの 廃止:3路線、認定:20路線

#### 報告

件 名 和解および損害賠償の額の決定について(4件)

#### 議員提出議案(意見書案) = いずれも可決

件 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉に関する意見書案 障害者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める意見書案

#### 請願 = 採択、不採択

HOME TO THE TOTAL THE TOTAL TO THE TOTAL TOT
件名
環太平洋経済連携協定(TPP)交渉に関する意見書の提出を求めることについて=採択
障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める国への意見書の提出を求める請願書=採択
「こんな時に消費税増税は行わないこと」との意見書の提出を求める請願書=不採択
米軍関係者による事故・事件における第1次裁判権放棄の「密約」破棄と「日米地位協定」の見直しを日
本政府に求める意見書の採択について=不採択

#### 孤況 為特別四 料益 DE

2月定例会では、3月8日、9日および12日に委員会を開催し、議案の審査を行いましたので、その概要を

#### お知らせします。 主な質疑 ★職員給与費における時間外 ★住宅改修資金貸付元利収入 ★開発手数料の減少の現状 ★土地建物貸付収入の増額理 ★地域防災力向上支援事業費 ★市民税における滞納繰越分 ★市たばこ税の増額根拠 ★予算の枠配分方式による考 ★危機管理経費における安定 ★市功労者表彰の予定 ★世界遺産登録推進事業の内 ★荒神山自然の家管理事業の ★内部情報系システム再構築 ★減収補填特例交付金の内容 ★新修彦根市史の発刊予定 (一般会計歳入) 【当初予算関係】 内容 「企画総務消防」 (一般会計歳出) 手当の内訳 手数料および業務委託料の 業務の内容 および住宅新築資金貸付収 徴収率の根拠 ョウ素剤の保存方法等 入の金額の根拠 補助金の補助メニュー ★交通安全施設整備事業の内 ★工場等設置奨励事業の補助 ★緊急雇用不法投棄等パトロ ★彦根の食創出・育成事業に ★ヒューマンアクター報酬の ★緊急経済対策住宅リフォー ★ごみ対策経費の大阪湾広域 ★道路維持経費等の土木施設 ★ひこにゃんボトルウォータ ★消防職員定数の変更に伴う ▼リサイクル活動推進事業奨 ★消防救急デジタル整備事業 ▲観光推進事業のイベント ▲住民票等コンビニ交付シス 内容 「市民産業建設 励金の考え方 催委託料の内容 臨海環境整備センター負担 職員の採用予定 ム促進事業の内容 ールおよび美化推進事業の 金の減額理由 補修費の見積根拠および補 おける今後のひこね丼の展 積算根拠 テムの年度別計画等 ー製造委託料の内容 開 ★介護予防事業の今後の取組 ★スクールランチの利用者の ★介護予防支援事業の利用見 ★国民健康保険料の医療費給 ★子どもセンターの備品購入 ★放課後児童クラブ運営事業 ★生涯スポーツ事業のスポー ★緊急雇用特別史跡内におけ ★湖東定住自立圏図書館サー ★病院事業会計負担金の国の ★ひとり親家庭援護事業にお ★民間保育所施設整備事業に ★老人クラブ助成事業の内容 ★老人福祉月間事業の内容 ★立花船町線街路事業の進捗 費用 ツ推進委員委託料の内容 るパトロール事業の内容 ビス事業の年度内目標 容 予備費の金額の根拠 の根拠、予算設定の根拠、 (特別会計) の利用状況 繰出基準 ける補助事業の内容 おける保育所新設補助 込みの減少 福祉病院教育. 付費分滞納繰越分の徴収率 採決結果 討 ★平成24年度一般会計予算お ★全議案に対する賛成討論 ★幼稚園用地拡張事業の繰越 ★産婦人科医師派遣負担金の ★宅老所整備事業の現状と来 ★市立病院入院患者見込みと ★金融対策事業の小口貸付の ★薬品費の増額の理由 ★現在の地域包括支援センタ ★夜間当直医の人数と賃金 ★東部配水池築造工事の進捗 3 人 【補正予算関係】 よび国民健康保険事業なら 明許費の内容 収入見込み (企業会計) 年度の方向 すべて原案のとおり可決 びに介護保険事業特別会計 減額理由 内訳と今後の見通し 予算に対する反対討論1人 ーの今後のあり方 論

#### 常語委員会の 歌观 **大三**

2月定例会では、3月13日に企画総務消防および福祉病院教育、14日に市民産業建設の各常任委員 議案の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。 会を開催し、

ップの根拠

★消防団員報酬の増額総額およびア

び趣旨、 に関し、最初に提案された時期およ 主な質疑 ★市長等の給与の特例に関する条例 減額の経過、特例を戻す時

件1件の合計11議案および請願2件

例廃止1件、

規約変更に係る議決案 条例改正8件、

条例新設1件、

条

査

条の減免適用の認可地縁団体数、 象団体への周知方法 ★市税条例の一部改正に関し、 免簡素化の書類の具体事例および対 数 第 減 51

事業経過の告知 する条例廃止に関って寄附者等への 業基金の設置、管理および処分に関 ★国宝・彦根城築城400年記念事

発

言

言2人 請願について賛成発言1人、反対発 いこと」との意見書の提出を求める

★「こんな時に消費税増税は行わな

本政府に求める意見書の採択につい 棄と「日米地位協定」の見直しを日 ける第1次裁判権放棄の ★米軍関係者による事故・事件にお 「密約」 破

# 審 査

条例改正4議案および請願1件

主な質疑 用者代表としての審議委員の有無、 条例の一部改正に関し、今までの利 ★公民館の設置および管理に関する

他教育委員会が必要と認める者の具 関する条例の一部改正に関し、その 体的想定者 ★彦根城博物館の設置および管理に

関する条例の一部改正に関し、障害 児童福祉法に一元化するメリット 者自立支援法と児童福祉法の根拠を ★市立心身障害児通園施設の設置に ★介護保険料適用の要保護者の判定

発

★環太平洋経済連携協定

(TPP)

いて賛成討論、 ★介護保険条例の一部改正議案につ 討論・発言 反対討論それぞれ

採決結果 ての請願について反対発言1人

請願は、 議案は、 すべて原案のとおり可決 すべて不採択

# 市民産業建

条例新設1件、 査 条例改正2件、

第6条第2項各号の委員数と予算計

上数の関係

主な質疑 条例改正の動向 る条例の一部改正に関し、 ★市営住宅の設置および管理に関す および議会への報告の変更の有無 項第3号の法人を定める条例に関 ★地方自治法施行令第152条第1 道路線の廃止・認定に係る議決案件 し、第3号の定めの追加による範囲 1件の合計4議案および請願1件 他市

# 採決結果

ことについての請願について賛成発 交渉に関する意見書の提出を求める

**声2人、反対発言1人** 

請願は、 議案は、すべて原案のとおり可決 採択

る請願について賛成発言1人 を求める国への意見書の提出を求め ★障害者総合福祉法 (仮称)の制定

# 採決結果

議案は、 請願は、 採択 すべて原案のとおり可決



▲ 除雪作業

あった市の対応について に対して、初動に遅れが除雪時における除雪要請

また、幹線道路の 適切に実施するべ

西川

所属議員:10名

してどのような影響があ 況が彦根市予算編成に対 皆様の一刻も早い帰郷が 難を余儀なくされている すとともに、いまなお避 多発するなかで、 初予算における市長のコ 叶うことを願うものです。 悼とお見舞を申し上げま 犠牲者や遺族の皆様に哀 本大震災、福島原発事故 台風被害等甚大な災害が セプトについて問う。 たのか伺う。 震災等における経済不 昨 年3月11日 また、当 多くの ر ص



きと考えるが、 除雪は適切に実

#### 彦根市の除雪対策は

日常生活に大きな影響を故が多発するとともに、

もたらした。特に今年は

結し、随所で道路網が分は数回にわたり残雪が凍

に見舞われ、 17年ぶりとい ら の き

年ぶりといわれる大雪

市内の道路

今冬の彦根市内

は、



#### 的確な除雪の対応に努める

雪があり、 2名が待機して積雪10 切な対応に努める。 昼間に短時間で多量の積 以上を確認後、 出動基準については職員 の教訓を基に、更なる適 る結果となったが、今冬 多くの苦情・要望を受け できずに市民の皆様から 効果的な除雪作業が実施 路線での圧雪が著しく、 3日にかけての降雪は、 雪となり、 本年は例年にない大 降雪量の多 特に2月2~ 直営や委 。また、



# 新年度当初予算の

重点施策は



創造」に取組む。

#### 魅力ある彦根市の創造を推進する

寸断、 に見積り、 度比でマイナス1・7% 実に努め、「彦根市総合 ための対策」を重点とし 全で安心な暮らしを守る よるサプライチェーンの およびタイの洪水被害に 法人市民税は、市内に多 計画基本構想」に基づき た「危機管理対策」の充 い製造業で東日本大震災 |風格と魅力ある都市 円高等により 入の 歳出では「安 根 幹となる市 が前年

#### ほかにもこんなことを質問しました

- 地域医療について ☆
- 彦根市役所を災害時の対策本部とすることについて
- 世界遺産登録に向けての取組 ☆
- 中学校学習指導要領による武道必修化への対応について
- 積極的な企業誘致対策について ☆
- 新たなエネルギー対策について ☆
- 自殺対策について ☆



▲彦根市民憲章



▲現在の休日急病診療所

所属議員:7名

度中に完成予定である。本センターが、彦根市立病院敷地内に建設されるっ整備について見解を求める。また、現在平田町の福祉保健センターに併設されている彦根休日急病診療所が、本センターに併意病診療所が、本センタートに移転される。彦根休日急病診療所が、本センターとの連りに移転される。 業予算で一 センター」が、 3億9千万円 「地域医療支援 平成25年 0)



#### 地域医療支援センターが 果す機能は



#### 救急医療の役割分担を明確にする!

救急と二次救急との役割の拠点機能であり、一次診療所の充実と在宅医療 ターの役割は、休日とも協議している。 医師会、薬剤師会が入る 立病院の救急外来の負担 緊密な連携と、 事業者協議会などの 他、看護協会や介護保険 ターには、 内での建設とした。 を軽減するために、 分担を明確にし、 市 病院と診療所 医師会、 休日 休日急病 歯 科 ン 敷地 セン 団体 1の市

年度に引き続き財政の策定にあたっては 金からの繰り入れや市債 を補うため、財政調整基 落ち込みによる財源不足 される中、本市の 全化に取組み事業を遂行 について見解を求める。 後年度見通しとその影響 の硬直化も懸念される。 じられることから、財政 市税や地方特例交付金の ス1・3%とされている。 込みは昨年度比でマイナ 発行などの手立てを講 策定にあたっては、 平成 24年度当 )歳入見 一政の 健



#### 本市の基金と市債の 後年度見通しは



#### 決して楽観できる状況にはない!

バランスを考えながら、るが、取崩しと積立ての が後年度の実質公債費比いく。市債は、その発行 機会ごとに積立てをして 一旦はまぬがれた感があが枯渇状態に至ることは 24年度末には約15億円と 率にどの程度影響がある なる見込みである。基金 いよう十分に留意する。 債費比率が18%を超えな かを積算し、再び実質公

#### ほかにもこんなことを質問しました

- ☆「彦根市地域福祉計画」について
- ☆ 本市の観光政策について
- ☆ 教育長の教育方針について
- ☆ 中学校給食センターの建設に関わって



▲平成24年度予算書

のちと暮らし、医療と食

TPP参加に対する

PPよりもFTAによる協議を

TPPから県民の

を守るため、国民の合意

成趣旨は何か。 食を守る県民会議」

のちと暮らし

/医療と の結

市長の見解は

TPPから県民

るが、日本のTPP参加 びかけ人に名を連ねてい と了解のないTPPに参 に反対の表明と理解して ために結成された。 加をしないことを求める 市長は会議の結成呼

博

安居

正倫



▲子どもが元気に遊ぶまち

増加にするための方策は。 定住人口を減少から その後は

#### 彦根の人口減少を 止める方策は何か

#### 住みよい住みたい魅力のある彦根に



▲国会での議論

問

老人クラブの補助

額

国民の同意を得ないTP 国間によるFTA協議を P参加に反対。 アメリカ 説明責任が不足しており、 答 国のTPPに対する よいのか。 主導のTPPでなく、 2

進めるべきと考える。

けや街コン等を側面支援 し旧市街地への居住促進。 人・物・ノウハウを 婚活事業への支援は 在彦企業への働きか

活用し保育の場の拡充を。 かな高齢社会構築を支援 で待機児童解消の一助に。 認可外保育施設活用 健康長寿を願い、豊 高齢者に生き甲斐を。

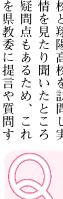
けと空き家バンクを整備 若年層の定住を図るべき 魅力ある彦根にしていく。 住みよい住 地域企業への働きか みたい

# 高校再編計 宮田 画のその 茂雄

後の動きや対応は その後県教委の動き

視察で来庁、意見交換し が再編計画に関する行政 は何も無い。 滋賀県議会

校と翔陽高校を訪問し実 である。市長が彦根西高 市の立場をよくご理解願 情を見たり聞いたところ 市の考え十分伝わった筈 えた。県教委職員も同席、



# 高校再編計画その後の 動きについて



問 県に働きかけ増額要 適正と考えている。

県に働きかけ増額要

請をしていくか。

# 老人クラブ補助金の 増額について

▲老人クラブ会合風景



の増額が考えられないか。 市単独ででも補助全

する気があるか。

要望の内容は県に伝



彦根市の思いを提言していく

老人クラブへの補助金増は困難

である。

市単独の補助は困難

て実績や会員数等を考慮問 補助金の配分につい ていることから市単独で した傾斜配分を行う気が 配分方法はとれない。 補助金の 県の補助要綱で行っ

つなげたいと考えている。 るので、理論構成を固め、 る均等割月額単価を改正 して、彦根西高校の存続に 求していく。その結果と 理論的におかしい点を追 委のやり方に矛盾点があ るべく準備中。 補助金のベースとな 要請は行っていく。 また県教



▲彦根西高等学校



# 中学校武道必修化

柔道剣道安全確保

の学校が大変多いと聞く。

体制など対処方法の確認

応急処置や緊急連絡

剣道を選択する考え

経済的負担はあるのか。

柔道と剣道で生徒

の種目選択は柔道なのか。

修化における本市

占

柔道事故発生時の

導教員の対応力向上は。

篤

裕次

ュラムの内容や安全体制

安澤

勝

機会を捉えてカリキ

など説明責任を果たす。

の協力を得る場合もある。 会の開催はすみやかに。 生徒・保護者への説 外部指導者の導入は。 地域の専門家各連盟



要な数を補正予算で対応。

道は選択した学校の必

柔道着は整っている

▲剣道連盟の指導による

ていく。

今後方法も含め、

検討

ることは認識している。

#### 「赤ちゃんの駅」設置場所と 周知は

寄り、 とめ「赤ちゃんの駅」と 等ができる施設をとりま して30ヶ所設置される。 が外出時に気軽に立ち 赤ちゃんの駅 シンボルマーク 赤ちゃん連れの保護 おむつ替えや授乳



場所がわかる周知の方法 主な設置場所と利用する 設置場所としては、

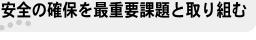
徳永ひで子

販店等の商業施設などを連れの家庭が利用する量 スターもしくは、 および当該設置の前にポ 想定しており、これらの 共施設や、多くの子ども 市民文化センター等の いては、施設の出入り口 いきたい。設置場所につ 施設に登録を呼びかけて センター、ふれあいの館、 文化プラザ、みずほ文化 ステッ



カー等を表示する。

# 公共施設や量販店等の商業施設に





# 鳥居本小学校体育館の 器具庫が手狭

校と教育委員会との連携 大雪等悪天候 大雪に限らず、 時、 学

庫スペースが不足してい 迅速かつ臨機応変に適切の方々と十分連絡を取り 保を第一に、学校が地域 な判断・対応が取れる体 制を講ずるよう、 れ、子どもたちの安全確 による増水等も視野に入



▲鳥居本小学校体育館の現状



今後方法も含め、検討していく



## 市民総ヘルパー構想導入の 政策提言



▲ステップあっプ21

希望される高齢者や障害 安芸高田市の感心のある 民が市の講習を受講し ない現状を考える時、 各種の役員のなり手

小 Ш 喜三

郎

否確認や話相手をするも

者宅を無料で訪問

し、

えでの制度導入の考えは ので市民による共助の考

る 問 に導入する考えはない。 「福祉員制度」にお 提言の制度をただち 本市が検討されて

び市社協の地 いる。 今日までの活動を勘案さ を進めるもので、市 れ市社協で取り組まれて て検討いただく考えは。 て参考にする。 の中で一つの事例とし 各々の地域の実情 福祉のまちづくり 域福祉の推 およ



#### 提言の制度を導入する考えはない

る方式は改めることが必 あっても立たせて待たせ 調が悪いから来院されて 座って待つ支払方式。体 払窓口で、立たせて順番間 市立病院では最終支 いる患者さんを一時的で けを最終窓口でするよう では。他の病院では各科 でこの方式は当病院だけ 待ちをさせている。県内 で料金計算し、支払いだ にして整理券方式にして



# 病院会計で立たせて 待たせないこと



#### 改善し苦情へっているが研究したい

善を行い、苦情もへって改修など課題がある。改場所の確保、システムの や患者さんの意見も参考 きているが、他院の取組 することは職員の配置や に引続き研究したい 各診療科で点数計算

携は十分であるか。

問

彦根観光協会との



▲市立病院での支払い待ち風景

▲彦根市キャラクター「ひこにゃん」

# 彦根における 観光事業の強化を



換も実施している。 市長との定期的な意見交 より管理職員を就任させ、

観光協会の役員に市

#### 彦根観光協会との更なる連携を図る

現在のひこにゃん体

間 現在のひこにゃん体 複数で対応できるよう努 を中心にスタッフを増員 度10月から1名増員し、 観光振興課の職員を今年 予算案に反映すると共に できるよう平成24年度の デンウィーク、 観光シーズンやゴー 連休等



▲彦根市立病院

山

内

勇

## 産婦人科医による 分娩再開の目途は

は滋賀医大に寄附講座を

県の医療再生計画で

彦根市立病院における分間産婦人科医を確保し、

中

滋

康

〈科医師を確保して分娩ら設し、市立病院の産婦

Щ

田多津子

娩再開の予定、

目途は。



## 県の医療再生計画により医師確保を

のため、市長・病院長・

は重いものと考える。こ を知事がされていること これと同趣旨の議会答弁

健康福祉部を何度も訪問 事務局長が滋賀医大、県 から引き続き取組む。 娩再開が欠かせないこと させるには、本院での分 期医療体制を整備、充実 意見交換している。 も経過や現状を報告し、 ている。滋賀医大学長に し、計画の実現を要請し 周産

進め、 案の制度をもう一歩前に 完全無料化になっており 豊郷町は小学校卒業まで 策で小学校卒業まで入院 院も含め医療費完全無料 として、本市でも今回提 れている。子育て支援策 で完全無料化に取り組ま ている。しかし多賀町や 市民から喜びの声が届 医療費無料化が提案され 大津市でも小学3年生ま 深刻化する少子化 小学校卒業まで通



# 福祉医療費助成の 完全無料化拡大を



#### 制度拡充には慎重にならざるを得ない

化にするべ

きと考えるが

うか。 強化として「ゆるキャラ間」ひこにゃんアピール の首都宣言」

上杉

正

て検討する。 今後の検討 をしてはど 課 **い題とし** 

見解は。 えていきたい。 ながら拡充の必要性を考 に取り組めば、 も含め医療費完全無料化 今後は財政状況も考慮し 千万円の経費がかかる。 小学校卒業まで通院 約1億4



▲乳幼児医療受給券



## 市内道路の除雪作業の 役割分担は

ね芹川より北側で国道8

除雪車1台を保有、 2 t除雪車2台、

概

ている。

から早朝にかけて実施

㎝に達した段階で、

夜間

線12㎞を都市建設部の職 号線より西側となる21路

員で担当、除雪時には必

除雪作業は。

彦根市が直営で行う

いる。基本的に積雪が10 雪を32事業所へ委託して 111路線135㎞の除

辻

真理子

業を完了するよう努める。 要に応じ職員を招集し、 いる除雪作業は 朝の通勤時間帯までに作 未明より作業を開始して 民間会社に委託して



#### 商店街街路灯の 電気代補助と対策は

電気代に頭を悩まされて 商店街が街路灯の多額の 奨励金で多数の街路灯が のため、多額の助成金や 問 設置されたが、減少する 今まで商店街活性化 電気代は継続して



▲商店街街路灯

北 村

收

補助無しでは支払いが出 めに電気代補助を。 商店街の明かり維持のた 来ない深刻な状況であり、 いる店舗数で負担され

あり、 事業も行っており、 としては商店街振興対策 費用については、商店街 から、維持や管理に伴う 保有する資産であること 県市の公的補助の対象で 化のため、建設設置は国 で負担していただき、市 共の利便性の向上と活性 商店街の街路灯は公 街路灯は商店街の 有効

活用してほしい。

市道644㎞の

内

# 街路灯の維持管理費用は商店街にて

# 彦根市直営と民間会社委託で分担

☆ 医療費抑制への取り組みは

「福祉・医療」

# ☆ $^{\diamond}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ ☆ 「市政一般 第5期介護保険事業計画について 障害者施策について 福祉事業について 誰もが利用しやすい介護保険制度を求めて

# $\Rightarrow$

地域主権一括法施行への取り組みは

☆

法が切れた同和対策事業の終結について 農業も医療、労働など地域経済を根底から崩壊させるTPP参加に反対 し、農業を守り活性化させるために

▲彦根市の除雪車

文化財保護事業について 「ひこにゃん」の出務規定について

☆  $\stackrel{\leftrightarrow}{\sim}$ ☆

☆

- 平成2年度彦根市主要施策について 第9次 彦根市交通安全計画素案について

# • ほかにもこんなことを質問しま

# 「くらし」

- ☆ 愛のりタクシー路線について
- ☆ 防災機能強化の取り組みは
- 道路の新設事業について

☆

- ☆ ごみ処理と減量化の取り組みについて
- 原発から市民の命と暮らしを守るために
- 彦根市の消防団を守るために

☆ ☆

☆ 「まちづくり」 佐和山城史跡を活かした観光の充実を

☆ 旧彦根港の5年・10年先を見た利活用の方針について

☆

県から移管を受けた荒神山自然の家の運営状況と今後の見通しについて

## 会 改 革 特 別 委 員 会 ・ 議 会 運 営 委 員 会 視 察 報 告

報共有②市民参加の推進③議員間

# 議会改革特別委員会 視察報告

平成3年1月12回。18回 平成3年1月12回。18回

議会運営委員会

視察報告

佐伯命。大多司 平成公年1月31日。22月1日

っておられます。 て政策立案し、市政の活性化を図 題を議員全員で議論し、 研究会」を設置され、 四 日市市議会では、 市政の諸課 議会とし 員政 策

置。平成23年3月全会一致で議案 議会基本条例調査特別委員会を設 究会を設置され、平成22年6月に 年6月に全議員による議員政策研 挙の立候補制の導入、 本会議のテレビ放送などです。 よる政策条例制定改正への取組、 改革の主なものは、 議会基本条例は、平成21 議員提案に 正副議長選

を可決されました。 基本条例の柱は、①市民との情

の合併により、 書質問の導入などです。 年議会の開催、 を目指すため「議会基本条例」 討議の活性化の3点。特徴は、 に届かなくなる」という懸念から、 自治基本条例\_ 後、 伊賀市議会では、 議会として住民自治の確立 反問権の付与、 「住民の声が行政 が制定され、そ 1市3町2村 文 通

制定されました。

告会の開催が義務付けられており、 れています 38の住民自治協議会ごとに開催さ 条例には、 年 1 回以上の議会報

ていました。 質問や地域の課題などを議論され きましたが、当日の準備、 や課題を目の当たりにしました。 わない場面もあり、 に続き、 を4人の議員が担い、 議会報告会を傍聴させていただ 報告に対する市民からの 双方の議論が噛み合 運営の難しさ 議会の報告 運営等



▲伊賀市の議会報告会

されました。 成22年10月に議会基本条例を制定 活力ある議会を構築するため、平 の思いから、市民に開かれた議会、 議員定数はますます削減に向うと より121人いた議員が30人となー佐伯市では、平成11年の合併に 議会が市民に評価されないと

さらに、議会が議決すべき事件に 現在は、廃屋対策に関する条例の関である政策研究会を設置され、 画を加えられています。 マスタープランと長期総合教育計 市の総合計画だけでなく都市計画 制定を目指して協議されています。 る議会への取組として、常設の機 実施されています。また、活力あ 材料のための議会モニター制度を レビ録画中継の実施、採決の判断 の開催、本会議と常任委員会のテ 議会への取組として、 佐伯市議会基本条例の開かれた 廃屋対策に関する条例の 議会報告会

市民の反応は変わってくるとのこ っかりと市民に見せることにより、 れた市民の意見は、その結果をし づき実施された意見交換会で出さ 本条例を制定されました。 論を経て、 定されました。推進チームでの議 政策課題として議会基本条例を選 に政策研究会を設置され、最初の 大分市議会基本条例の規定に基 大分市議会では、平成19年3月 平成20年12月に議会基

> こと、決算審査特別委員会での分 ました。 の賛否の公開などを決定されてき 科会方式の導入、議決結果の議員 陳情者の意見陳述の機会を設ける 委員会での委員間相互の自由討 れた議会活性化推進会議では、 とでした。同じく同条例に規定さ 一答方式の導入、反問権の導入

います。 提案の政策条例として制定され た「大分市子ども条例」は、議員 政策研究会で2番目に選定され 7

議会基本条例を制定して議会改革 の具体的な 今回訪問した佐伯市、 大分市

を設置して 政策研究会 だけでなく、 ておられる 取組を進め

向上を図る 議会の政策 られ、本市 を進めてお なるもので について大 の議会運営 ための取組 に参考と



▲大分市での研修風景

# い場合の開催の是非、「この 催については、付託案件のな めて議論することとしたもの 際」の一般質問のあり方を改 で、常任委員会の調査権は、

の開催について協議した。 および付託案件のない委員会 民アンケートの日程について 市民アンケートの日程は、 1月6日の委員会では、||市

議会改革特別委員会

中間報告

(1月6日

3月7・

15日開催)

定し、作業は2月定例会まで 誹謗中傷等の不適切表現を除 議論することとした。 に行うこととした。データ分 ェクトチームで行うことを決 分類作業についても、プロジ 決定。自由記述欄の議会改革 ロジェクトチームへの一任を いた部分の採否についてはプ で行い、自由記述欄のうち、 ータの入力作業は議会事務局 することを確認。回収後、デ 日に市内3、000人に発送 1月31日を締切として1月10 分類を終えた段階で、 に資する意見以外の意見等の 万法等については、意見集計、 灯、まとめ方、市民への公表 付託案件のない委員会の開 改めて

した。 との意見が出され、会派の中 権の行使について議論すべき もあり委員会のあり方や調査 も十分な準備ができないなど いう質問形式では、理事者側 していくこととした。 でも議論していただくことと 委員からは、「この際」と

委員会では、「市民アンケート 決定した。 の公表のあり方について協議 3月7日および3月15日の ムページで公表することを 市議会だよりと市議会ホ

員会で最終確認のうえ承認す とし、内容はプロジェクトチ 4月15日に全戸配布すること 果報告を内容とする「ひこね の別冊で、市民アンケート結 従来の「ひこね市議会だより」 市議会だより特別号」を発行。 ることとした。 市議会だよりでの公表は、 ムに一任し、3月15日の委

謊

場

作業をプロジェクトチームに 述欄にいただいた意見を整理 もので、詳細版では、自由記 表前にいち早くお知らせする 表は、速報版と詳細版に分け して掲載することとし、その ついて、市議会だよりでの公 トの選択式質問の集計結果に て行い、速報版は、アンケー 任することとした。 市議会ホームページでの公 また、

> より掲載することとした。 号」の発行日である4月15日 報版は3月14日より、詳細版 ホームページでの公表は、 「ひこね市議会だより特別

うえで、 渡しすることとした。 分類されるものは、整理した のうち、行政に対する要望に なお、 自由記述欄のご意見 議会として行政へお

民の皆様のご協力をいただき、 民アンケートには、多くの市 ありがとうございました。 1月に実施しました市



閉

会

6 月 27 日

(水

6 月 20 日 6 月 19 日

ずれも9時から開催予定

員会の日程

(予定)

個

人

質

問

6 月 18 日 6 月11日

月 月

開

会

本会議の日程

(予定)

6 月 25 日

月

福祉病院教育

6月22日 (金)

算

6月21日 (木)

# H を 開催 市民産業建設 企画総務消防 ◆印の委員会は14時から、それ ま

市議会では、 会派を超えた議員有志による議会開放推進プロ

います。

に第14回議場コンサートを開催しました その取組の一環として、2月定例会開会日の2月27日 月

では「明日という日が」を披露してい とたんぽぽ」をお聞きし、アンコール の金子みすゞの詩の朗読により「ほし 日もひとつ」、「二度とない人生だから」、 「ほほえみ」などに加えて、童謡詩人 今回は、コールほなみの皆さん11名による女声コーラスで「今

ごしていただきました。 のこもった歌声に楽しいひとときを過 だき、大変なごやかな雰囲気の中で心 ただきました。 議場には、多くの方々にお越しいた

に行使していくべきかを議論 限であることから、どのよう れたものでなく、委員会の権 務調査権は委員個人に認めら 調査であり、法令上、所管事 会付託案件の調査と所管事務 地方自治法の規定から、委員

ジェクトチームを組織し、市民に開かれた議会づくりを進めて 第15回 議場コンサート (予定)

時 平成24年6月11

日

所 彦根市議会議場 (月)13時から

場

公募(4/2~4 (市役所5階)

出

演

やホームページで 詳細は広報ひこね 者から選考中 (23) による応募

その他

お知らせ予定

ひこね市議会だより第117号 平成24年5月1日発行

※ひこね市議会だよりは再生紙を利用しています。

編集:議会報編集委員会 発行:彦根市議会 彦根市元町4番2号

ひこね市議会だより 第117号 14

火 )

電話:0749-22-1411(代)、0749-30-6130 (ダイヤルイン) ※この広報紙は49,000部作成し、1部当たりの印刷単価は7円(1円未満切捨)です。